



# T-time

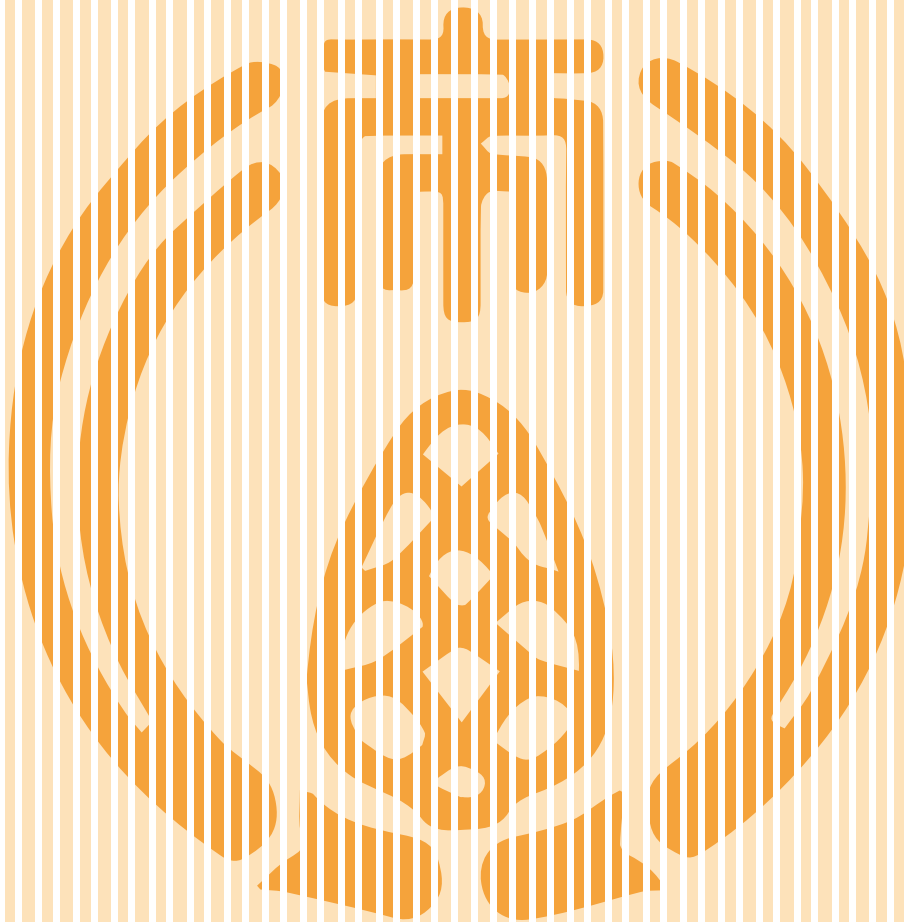
帝塚山学園広報誌

2018/Jul.

第3号

2018年7月12日発行

帝塚山大学・帝塚山高等学校・帝塚山中学校・帝塚山小学校・帝塚山幼稚園



# 五世代に愛される学園へ

帝塚山学園理事長 吉川 勝久

## 1 街づくりと共に

昭和16年4月、学園が創設され帝塚山中学校が開校しました。翌年3月には学園前駅が設置されました。その後、昭和22年に学制改革により新制中学校が設置、翌年の昭和23年に新制高等学校を設置、昭和27年に幼稚園開園、小学校開校、昭和36年に短期大学開学、昭和39年に大学開学、昭和40年に東生駒キャンパスが誕生、昭和43年東生駒駅設置、平成3年大学院設置、平成16年、短期大学を改組し4年制大学へ、そして、平成18年に2歳児教育がスタートしました。

今日の学園は、近鉄の代表的住宅開発と共に発展してまいりました。特に、学園前キャンパスは、総合学園として駅前まで至便、しかも同一敷地内にあるという立地は、日本でもめずらしく、学園の教育連携にも大変優れた環境であります。また、子どもたちの通学についても安全を確保した教育環境を提供しています。

## 2 帝塚山ブランドを築く根幹

これまで学園は、2歳児教育・幼稚園から大学・大学院まで、それぞれの発達段階に応じた特色のある教育を展開してまいりました。戦時中、そして戦後の厳しい時代から、経済復興を果たし、高度成長、バブル崩壊と様々な時代を経て、今日まで時代の変化に呼応しながら一貫して、人間性、人柄、そして

品性を培うことを重んじた教育を続けてまいりました。この間、地域とのつながりや兄弟、姉妹、二代、三代、四代と世代を超えて受け継がれ、愛される総合学園として存立し続けて来られましたことこそが、「帝塚山ブランド」を築く根幹であり、学園の最大の強みであると感じております。

【建学の精神】  
社会に有為な人材を育成する

【教育の根本理念】  
「子供や若い人達は学園の宝」  
・ 人間性を養う  
・ よい人間をつくる  
・ よい人柄をつくる  
・ よい品性を培う

- 【帝塚山教育】
- ① 心も身体も伸び伸びと伸ばす教育
  - ② 個性が尊重され、いかされる教育
  - ③ 情緒ゆたかで情操を高める教育
  - ④ 実践力のある人間をつくる教育
  - ⑤ 世のために尽くそうとする精神の涵養
  - ⑥ 自主独立の精神と自ら学ぼうとする意欲の養成
  - ⑦ 国際的な広い視野を育む教育



### 3 有為な人材育成こそ使命

2021年度、帝塚山学園は創立80周年を迎えます。平成28年度（2016年度）を初年度とする「第4次中期計画」の最終年度となる平成33年度（2021年度）は、学園創立80周年にふさわしい姿で迎えるべく、各学  
校園・法人においては、重点目標の実現を目指して力一杯取り組んでおります。

- 【2歳児教育・幼稚園】  
生きる力の基礎と学びの基礎の育成を行うこと
- 【小学校】  
人間力の基礎づくりと21世紀型スキルの育成を行うこと
- 【中学校・高等学校】  
人間力の育成と個々の進路を実現する教育の推進
- 【大学】  
実学教育の実現と地域・社会のニーズに対応した人材の育成
- 【各学校園・法人本部】  
教育連携の強化

これらを実施し続けることで、帝塚山学園として園児・児童・生徒・学生に社会的に必要とされる価値やスキルを身に付けさせることができ、社会的使命を果たせる人材を育成できるのではないかと考えています。

### 4 愛され続ける学園として

創立80年を契機として、その先の未来も古都奈良と新しい街とが見事に調和した美しい環境の下で、総合学園としての強みを発揮し、次のような未来の学園を創りたいと考えます。

○教育の根本理念である人間性、人柄、品性を養い、培うことを重んじることや幼少期から帝塚山学園で育ち、誇り高く、また、次の代も学園で育てたいと言っていただけ  
る学園にしていくこと

○創立100周年には、園児・児童・生徒・学生・家族・保護者・育友会・同窓会など、二代、三代、四代、五代にわたり愛され続ける大帝塚山ファミリーとして拡大・発展  
していくこと

私は、子どもや若い人たちが根っこを育み、鍛え、人間形成を成していくことを願  
い、社会に有為な人材を育成するという「帝塚山ブランド」を一層磨いてまいりたいと思  
っています。

関係者の皆様には、今後共、引き続きご支  
援を賜りますようお願い申し上げます。

# 小学校英語教育と教育学部と私

帝塚山学園学园长 富岡将人



来春、教育学部が設置される学園前キャンパス18号館

改訂小学校学習指導要領が、2年間の移行期間を経て2020年度から全面实施となります。改訂の最大のポイントは、小学校中学年に「外国語活動」、高学年に「外国語科」が導入されることです。

「外国語活動」は、現在5〜6年生の高学年で行われているものを、3〜4年生の中学年で行う訳ですから、これだけでも本場に容易なことではないと思います。ましてや小学校教育で初めての「外国語科」となりますと、算数や国語等と同様に、これを児童に指導し、評価しなければなりません。

このことから、小学校教員を対象に、今、様々な機関で「文部科学省委託事業」として英語研修会が行われ、指導のためのガイドブックや教科書の内容に沿った映像・音声資料等が文科省で作成しているようですが、果たして十分なのかどうか。

一方、これに呼応して、各府県等教育委員会の小学校教員募集で、英検2級等の資格保有で加点の優遇措置を受けられる制度等が多

く見られることに、私は強く興味をもちます。それは本学では2019年4月から、教育学部こども教育学科を開設するからです。また、現在も現代生活学部こども学科で毎年100人超の学生が入学し、幼稚園教諭や保育士以外に小学校教員を目指す学生も3割以上いるのですから。

そこで、今年度から教育学部開設予定記念事業と位置付けて、現代生活学部こども学科の学生を対象に、「英語力向上講座」を外部委託（有料：日米英語学院）で設置しました。

なかなか好評で、1年43名、2年33名、3年21名、4年5名の102名とプラス私の103名が受講しています。

基礎文法からはじめ、使える英語力を習得し、英検2級以上の資格取得を目指しています。講座は、1レッスン90分で来年2月までの計27回。毎週土

曜日の午後に若い学生に交じってレッスンを受けています。私にとっては、実に40数年ぶりの語学学習です。

なかなか面白い展開です。



開設された「英語力向上講座」

# 帝 T-time CONTENTS

理事長	五世代に愛される学園へ	1
学園長	小学校英語教育と教育学部と私	3
教育連携対談	池田小学校長・塚本園長に聞く	5
	活躍する新卒の保育士、幼稚園・小学校教員	7
	今を時めく人 カメラマン・やまぐち 千予さん	9
同窓会	同窓生が平山郁夫リトグラフ寄贈	10
大学	目指せ英語力ある教員「向上講座」開設	11
大学	学園の新酒「松毬」ラベルは学生デザイン	11
中高	生徒アイデアで次世代型水道メーター開発へ	13
中高	合同チームでロボカップ世界大会チャンピオン	14
小学校	シエスタで児童リフレッシュ	17
小学校	田村さん スピーチコンテスト全国1位	17
幼稚園	幼小大連携 学生栽培の新じゃが収穫	19



## がくえん文芸 鴨舟選

### 俳句

盆地いま杏盛りに膨らみて 坂井 法  
花あやめ何もない日をおりたたむ 川村 康祐

### 川柳：課題「かく」

授業中頭かいたら当てられる中2 池山 慶祐  
最近財務省でも書いて消す 中2 阿部 成吾

### 短歌

画用紙に夏の思い出描いてくカラフルな色足りないクレヨン 高1 廣瀬 七楓  
梅雨の日におちこみながら歩いてく演出みたいに降ってくる雨 高1 小原 夢美

感謝の意本日は言葉で伝えたいやっぱりでできない花よたのんだ 高1 大島 早織

評 川柳一句目、偶然頭を搔いただけなのに：鋭い先生は見逃さなかった。授業アルアルの一コマ。ほのぼのとした日常を感じます。川柳二句目、世間を賑わせている森友問題、改竄や不自然な破棄、苦しい弁明。大人たちよ、子どもたちはシンブルかつシビアに見つめているぞ。短歌一首目、夏の思い出の感動を一枚の画用紙に描き上げる。あまりに色合いが足りない、手持ちのクレヨンなんかでは：。色彩にあふれた世界が限りなく広がりを見せている。若々しく爽快です。短歌二首目、何かを重くする出来事に、追い討ちをかけるように梅雨の雨が降り注ぐ、これが演出なら、この後には、悲しみのすべてを流し尽くしたあとのカラッとした晴れ空がのぞくはず。止まない雨はありません。短歌三首目、五月なら母の日、六月なら父の日。どちらにしても、日常のあたりだしさのなかで、埋もれがち小さな大切な心を伝えたい。普段より少し優しくなった気持ちを花に託して：届くといいな。きつと届きます。

今回にて最終稿となり、永らく編集に携わった者としては、寂しくもあり、残念でもありません。毎回たくさんの方が、些細な日常のなかに心ふるわせ、筆を執っていただきました。そんな心の動きを、言葉を通してわずかに寄り添ってまいりましたこと、本当に幸せに感じています。なくなってしまうと思うと改めて心苦しくは思いますが、些細な日常にわずかに心動いたことを大切に、これからも歌にのせていただくような日々をお過ごしください。

がくえん文芸終了のお知らせ がくえん文芸は昭和63年10月、学園新聞148号に俳壇が登場。同11月に川柳、平成6年6月には短歌も加わりました。約30年間、200回以上にわたり、発表の場となり、ご愛読いただきました。講評くださった歴代の先生方はじめ、関係各位に感謝申し上げます。(教育連携室)

表紙 辻川ひとみ学科長、新海俊一准教授(大学現代生活学部居住空間デザイン学科)と同学科3年生のト部真穂さん、小林眞子さんの協力で、愛称「T-time」にふさわしいイメージでデザインされました。

## 「学びと発達の連続性」踏まえた教育実践

帝塚山学園の教育連携の一環として、池田節小学校長と塚本真紀園長が対談しました。幼稚園から小学校への接続を円滑に進めるため、学びと発達の連続性を踏まえた教育実践について話し合われました。（聞き手は、富江朋子教育連携室教育連携課長）

―帝塚山小学校、幼稚園の教育の特色は

池田 小学校では①主体的な学習姿勢を育てる「考える子ども」②コミュニケーション力やグローバルな社会への適応力を付けるため「心を磨き、共感力を高める」③確かな価値をつかみ、個性を生かし輝かせるため「本物に触れ、可能性を広げる」ことを教育の3つの柱にしています。

塚本 幼稚園は、自分で生きていく基本的な生活習慣を身に付け、自立させていくことを大切にしています。自然との触れ合いを中心に、自分のまわりにどんなものがあるかに気付け、物事を考える探究心や創造力を育むよう、生活面や学習面でもしっかり取り組んでいます。他人の話を聞く力を養い、相手のことを考えて折り合いがつけられる自己調整力や、仲間と協力する協同性を身に付けることでスムーズに小学校の教育に移行していけると考えています。

―学園内の小学校、幼稚園というメリットは

池田 幼小で合同行事を多く取り入れ、子どもたちが触れ合う機会も多く、教員同士の連携もスムーズです。卒園後も小学校で子どもの様子を見ることができ、小学校も就学前の園児を幼稚園で見ることができます。

―幼小連携の必要性は

塚本 園児が安心して新しい世界に入っていくために必要だと思います。小学校の先生方が幼稚園教育に目を向け、年長児の様子や幼稚園の教育を理解していただいて、小学校に送り出しています。年長児と1年生について幼小の教員同士の理解が連携につながっていると思います。

―現在、取り組まれている連携は

池田 学園の畑で大学生が栽培したジャガイモを5年生と年中児が掘り、給食の食材にしています。これは総合学園ならではの取組です。また、小学校国際交流部の上級生が園児

に英語の絵本の読み聞かせをしています。小学校の英語主任の先生が園児の英語教育に協力しています。今年は、年長児と6年生が学園プールで水泳の練習をマンツーマンで行うほか、年少児に3年生が紙芝居を計画するなど、全学年で幼稚園との連携を深めていく予定です。

―幼小のカリキュラム上の連携は

塚本 幼稚園から小学校に進むには大きな変化を伴います。ステップを急にするのではなく、滑らかに移行できるように柔軟なカリキュラムを組んでいます。

池田 毎年、5月の内部保護者向けの説明会で幼稚園から内部進学した1年生がどう過ごしているかをお伝えしています。さらに入学直前の3月には、幼小の教員間で申し送り会を開き、安心して内部進学できるよう努めています。

―学園内の幼小連携の効果は

塚本 園児が身近なところで小学生を見て「あんなお兄さん、お姉さんになりたい」と憧れを抱くことです。保護者の方々も行事を通じて小学生に、わが子の成長する姿を思い描き、期待されるのではないのでしょうか。そして「ああ、やっぱり幼稚園から帝塚山に来てよかった」と思っていただけだと思います。

池田校長 「小学1年生は幼稚園からの自立4年目」



塚本園長 「学園の入口は幼稚園・2歳児教育から」

池田 学園内の一貫性が大切です。幼稚園は「根っこを育てる」。小学校は「根っこを鍛える」。そこにつながりが自ずと出てきます。幼稚園の学びが、そのまま小学校の伸びしろになります。また、幼小それぞれの行事でもつながりがあります。学園の一貫した教育をしっかりと謳っていくことが大事だと思います。

— 今後の抱負は

塚本 帝塚山学園の入り口は幼稚園、2歳児教育からです。子どもたちが自然環境の中で楽しく、のびのびと成長していける幼稚園でありたいです。保護者の皆様に末永く帝塚山学園にご支援いただけるよう努めてまいります。

池田 園長を兼務した経験から幼稚園3年間の子どもの成長に目を見張りました。小学1年生は、ただかわいいと迎えるだけでなく、幼稚園からの4年目の自立に向けて小学校に入学したと目標を高く掲げ、育てていきたいと思えます。幼稚園は知的学習だけに走らず、自然との触れ合いを大切にしながら幼児期に大切な豊かな心を育むよう大事に育てています。これが小学校での伸びしろになると、子どもたち自らが成長して証明してくれるような小学校教育を進めていきたいと思っています。

# 活躍する新卒の保育士、幼稚園・小学校教員

教育連携室では、この春、現代生活学部子ども学科を卒業し、保育・教育現場で活躍している3名の皆さんに、現職に就かれたきっかけ、在学中の思い出や進路決定の経緯、教職支援センターで学んだことなどについてお聞きしました。

また、来春、教育学部子ども教育学科が新たに誕生することを受け、後輩たちへのメッセージも贈ってくれました。

学生時代の経験が  
活かしています



加古川市立東神吉南小学校  
福田 慎之助さん

**Q1** 加古川市立東神吉南小学校で5年生の担任をしています。

現在は、子どもたちにとって授業が分かりやすく計画通りに進むように学習指導に取り組んだり、周りへの配慮ができる思いやりのある子どもに育ってもらうために生活指導に取り組んだりしています。

**Q2** 中学生のとき教育実習にいられた先生が魅力的で、すごく惹きつけられたのがきっかけで、この仕事を目指しました。

**Q3** タイ・ラオス・ベトナム・カンボジアなど、東南アジアの国を一人旅したことで多様な価値観に触れることができました。また、熊本地震の復興ボランティアに参加したこと

や、兵庫県内の小学生が参加する4泊5日の自然学校に指導補助員として参加したことで貴重な経験を積むことができました。これらの活動は、子どもと関わる場面で活かされています。



**Q4** 教職支援センターでの面接練習は本番に近い環境だったので、本番では非常に役

## アンケート内容

- Q1 現在のお仕事は
- Q2 教職を目指されたきっかけは
- Q3 在学中に学んだことで現在活かされたことは
- Q4 教職支援センターでの学びは
- Q5 目指す保育士・教師像は
- Q6 後輩たちへメッセージを...

立ちました。今ではとても感謝しています。

**Q5** 子どもたちとしっかり向き合い、学び続ける姿勢をもった先生になりたいです。

**Q6** どんな先生になりたいか目標を定めて面接練習などに取り組んでください。そして、子どもたちと触れ合う現場実習などに積極的に参加してほしいと思います。

毎日が  
勉強の連続です



奈良市立三笠保育園  
竹内 裕菜さん

**Q1** 奈良市三笠保育園で保育教育士として5歳児の担任をしています。

**Q2** 両親が共働きで早くから保育園に入っていたので、保育園の印象がとても強くて好きでした。そのため、中学生の時の職業体験や高校生の時のオープンキャンパスでは保育がある大学の見学に行きました。

**Q3** 学園祭などを運営する執行委員に所属していたことで、保育実習の時、人前で話すような場面でも、緊張せずに過ごしました。また、就職活動と並行して保育園に半年間ボランティアにも参加しましたので、それらの経験は今も活かされています。





**Q4** 教職支援センターでは、ピアノや絵本の読み聞かせなど、一人では取り組むことが難しい実技の指導をしていただいたり、同じ採用試験に臨む他クラスの学生たちと集団面接の練習をしていただきました。就職活動は常に不安がつきものですが、教職支援センターの先生方に毎日見ていただけたので心強かったですし、そういう場所があつて本当に良かったと思います。

**Q5** 毎日が勉強の連続で、先輩の先生方の姿を見ているとすごいと感じる場面が多いので、いろいろなことに挑戦したいと思っています。そして、子どもや保護者の方々に愛される保育士になりたいです。

**Q6** 積極的にボランティアに参加してほしいです。そして、教職支援センターには絶対に行つてほしいです。一般教養や筆記試験だけの力では絶対に採用されない職業です。私自身、教職支援センターに通つたおかげで、本番の面接は緊張せずに臨めました。

**Q1** 帝塚山幼稚園の3歳児クラスで担任をしています。

**Q2** 幼稚園の入園式で笑顔がすごく素敵な先生を見かけて、園長先生に「あの先生のクラスにしてください」とって直談判に行つたんです。(笑) その頃から幼稚園の先生になりたいと思つていました。

**Q3** 演習の授業で、一人の園児と携わっている様子を映像で記録して、後日見返して分析する授業があるんですが、そこでの気づきや経験は今も活かされています。

**Q4** 教職支援センターに通つたおかげですごく力がついたと思います。センター長は普段は気さくな方なんですけど、面接練習になると目つきが変わるんです。あの目で見られたら

先生を信頼される  
目指します



帝塚山幼稚園  
乗越 春菜さん



何回行つても緊張しました(笑) でも、そのおかげで本番では「ちゃんと答えられるから大丈夫」と思えましたし、自信になりました。

**Q5** 子どもや保護者の方々、先生方に信頼される、「あの先生好きだな」と思つてもらえる先生になりたいです。

**Q6** 一番は大学生活を楽しんでほしいです。そして、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を目指すなら、1年生の時からしっかり授業を聞いてほしいです。本当に大切なことを教えてくださっています。入学してすぐに就職のことを実感するのは難しいと思いますが、4年間は長いようであつという間なので、自分の力にしてほしいと思います。

今を時めく人

写真入門書が大ヒットしたカメラマン

やまぐち千予さん 大学経営情報学部1期生

## 「行動すれば思いが形に」

「発信したい」というニーズが高まっていますが、プロ向けの教科書しかありませんでした。カメラマンだけでなく、ウェブデザイン学校講師としての経験を生かして、写真が画面の中でどうデザインされるかなど、起業を目指す人向けに昨年、出版した。

撮影前にマーケティングをし、商品の特性や性能、デザインから、どのように撮影することで、商品のイメージが伝わるかプランを立てる。顧客層や販売価格から小物などもスタイリングし、いかに訴求力を写真に反映させるかを検討する。同じ料理写真でも背景などデザインで変わることなど、実例を示しながら解説した。

2年前にも初心者向けの「これからはじめるデジタル一眼カメラ 写真と撮影の新しい教科書」を出版。「絶景でなくても、身近にあるコップでもカメラの使い方ですトリー

性や感動を与えられる」と、舞台の中で主役、脇役を決めて構図を考えるなど、わかりやすい内容でAmazon新着7位になった。出版後、商工会議所や自治体、企業などから講演依頼が殺到。年明けには楽天の「新春カンファレンス」のゲストとして著名人と東京、大阪、福岡で講演した。

経営情報学部1期生。卒業後、システム開発会社に2年間勤めたが、亡くなった祖父が赤ん坊の自分を撮った写真を大掃除中に見つけたのがきっかけで家族の愛情を残す写真の世界に飛び込んだ。

カメラマン助手をして写真を独学。フリーカメラマンとして花を開かせ、大手カメラ会社の「世界のカメラマン」の一人に選ばれた。カメラ会社のサイトでの連載、講師、NHKテレビ番組「サラメシ」などに出演、さらに関西カメラ女子部を主宰するなど、幅広く活動している。

「大学時代の経営と情報の学びが仕事のスキルになっています。夢をかなえる人を見て『やろうと思えばできる』と自分に言い聞かせた。一度しかない人生。まず行動すれば、思いを形にできる」と話した。



「経営と情報の学びが独立につながった」と話すやまぐちさん

初心者向けにネットショップの商品撮影を解説した「売上がアップする商品写真の教科書」が大ヒットした。

「売上高は商品写真の品質で変わります。SNSによる商品紹介も増え、『自分で撮っ

# 大学での学びが仕事のスキル！

## 中高同窓会だより

### 関東支部総会 60人集う



同窓会関東支部（須賀田康晴支部長）の総会・懇親会が5月27日、新宿京王プラザホテル44階の「アンサンブル」で開かれ、約60人が集ったⅡ写真。ゲストの音楽科の川口勝利教諭から、学園の様子、進学校としての実績

のほか、DVDで音楽活動なども紹介された。それぞれの分野で活躍する後輩に出席者は誇らしく感じた様子だった。綿谷基同窓会会長の挨拶の後、懇親会がスタート。あちこちで笑顔と笑い声が聞こえた。最後に川口教諭の指揮で校歌、茜雲を合唱した。

### 剣道部OB・OG会有馬前校長の謝恩会



剣道部OB・OG会（23期〜50期）は2月17日、昨年退職した有馬利治前校長の謝恩会をホテル日航大阪で開いたⅡ写真。剣道部顧問の恩師の退職祝いと感謝の気持ちで、元剣道部員39人が出席。剣道部時代の懐かしい話の輪が広がった。

### 21期山中さん 平山郁夫リトグラフ寄贈



中高21期生で大学教養学部4期生の山中美枝子さん（大阪市在住）が3月6日、日本画家、平山郁夫氏のリトグラフ「朝陽砂漠らくだ行」を中高に寄贈したⅡ写真。

今年106歳で亡くなった母、芳枝さんの遺品。芳枝さんは中高育友会や教育振興会の役員を務めた。1号館に飾られ、美枝子さんは「母もきつと喜ぶと思います」と話した。

### 短大総会「青春との再会の場」



短大同窓会総会が4月22日、短大ホームカミングデーが行われた大学あかね祭に合わせて学園前キャンパスで開かれた。

総会には104人が出席。上野百代会長は「同窓会は、私が私だった頃に戻る再会の場です。同窓会活動のバトンを次の世代にないでいきたい」と話したⅡ写真右。

ホームカミングデーでは、元短大教授の中谷克己先生が「短期大学の思い出」を講演。名物教授やゼミ旅行に触れ、「短大生は先生との距離感がなく、自由闊達だった」と話した。



卒業生と話す中谷先生（左）

講演の最後に、「時々、キャンパスに来てください。短大時代の思い出につながるものがたくさん残っています。青春時代に帰れる場です」と呼びかけました。

## 目指せ英語力ある教員「向上講座」開設



現代生活学部こども学科は5月12日、「英語力向上講座」を開設した=写真。英語が必須科目になった小学校教員を志望する1年生～4年生計102人が受講、採用試験で優遇される英検2級以上の合格を目指す。

講座は来年2月まで27回にわたり、日米英語学院の講師が基礎文法から、実際に使える英語力を養成する。

2020年度から全面実施される次期学習指導要領では、3・4年生が「外国語活動」、5・6年生は教科「外国語」が必須となる。

教員採用試験では、即戦力として英語指導ができる人材を採用する傾向が強いことから、教職支援センターが呼びかけ、こども学科と学園前キャリアセンターと合同で企画した。講師は「楽しく英語を教えるには、英語の楽しさを知ることが必要です。英語で話し、書き、自分の意見を伝えることを学びましょう」と話した。

講座には、富岡将人学園長も参加、「しっかりと英語力を身に付け自信をもって教壇に立ってください」と学主にエールを送った。

### デザイン学 科 上田さん 新酒「松毬」ラベルデザイン



学園ブランドの新たな地酒「松毬」(まつかさ)が6月、登場。ラベルは大学現代生活学部居住空間デザイン学科長の辻川ひとみ准教授のゼミ生3人が手掛け、コンペの結果、上田恵利花さん(4年生)のデザインに決まった=写真左。

上下に青と赤の松毬を配したラベルで上田さんは「恋人が過ごすひとときや海外の方にも手にとってもらえるよう斬新なデザインにした。ラベルが商品化され嬉しい」と話している。

お酒は、創業122年を迎える奈良県香芝市の酒造会社「大倉本家」の特別純米無濾過生原酒(720<sup>ml</sup>)。



大倉社長(右)の説明を聞く辻川准教授とゼミ生

ゼミ生3人は4月末に辻川准教授とともに酒造会社を訪問。大倉隆彦社長に酒蔵を案内してもらい、酒造りについて聞いた。

「松毬」は学園内の帝塚山ビジネスサポート(株)で、1200円(税込み)で販売。

お問い合わせは、電話0742-41-4486。

### 食栄養学 科 佐伯ゼミ生 「まっぼっくり」で親子に手作りバター



大学こども学科子育て支援センター「まっぼっくり」で6月2日、親子教室が開かれ、現代生活学部食物栄養学科の佐伯ゼミ生3人が就学前の地域の子ども21人と保護者14人に手づくりバターの作り方を教えた=写真。

ペットボトルに冷やした生クリームと水を入れ、ボトルを振ると、脂肪分が固まり、水を抜くとバターの完成。親子でさっそくパンにバターやジャムをつけて味わった。

まっぼっくりは親子教室を年4回開き、好評を得ている。

## 1053人入学 学長「自分らしく生きる人に」



4月1日、大学・大学院入学式が学園前キャンパス学園講堂で開かれ、新入生1042人と大学院生11人が新生活のスタートを切った。

式は午前、午後の2部に分かれて行われ、午前には経済経営部の竹元龍我さんが新入生を代表して「建学の精神を尊び、深い自覚と高い見識をもつべく勉学に励むことを誓います」と述べた＝写真。

蓮花一己学長はラグビー元日本代表監督、平尾誠二氏の「今の時間を大事にできない人は未来の時間も大事にできない。自分らしく生きることでできない人は次なる道は開けない」の言葉を紹介。「自分らしくの第一歩は自分自身を信じる力を身につけ、仲間を作り、活動の場を広げる。大学は人生を豊かにする力を身につける場。教職員は全力でサポートしたい」と話した。



## 684人卒業 学長「立派な社会人に」

大学卒業式と大学院修了式が3月20日、大阪市北区のグランキューブ大阪（大阪国際会議場）で行われた。

卒業生は6学部671人、修了生は大学院3研究科13人の計684人。蓮花一己学長が、修了生、学部卒業生の代表に学位記を授与。次に学業成績や社会貢献・課外活動などで優秀な成果を収めた「学長賞」の13人が紹介され、奈良県警の防犯活動に尽力した法学部法学科の藤井健瑠さんが代表で表彰状を受けた＝写真。

蓮花学長は「人脈を広げ、立派な社会人に成長してほしい」と卒業生らを激励した。



## テヅカフェ4年目 新メニュー登場

大学現代生活学部食物栄養学科の河合ゼミ生が五條市の道の駅「吉野路大塔」で運営するレストラン「TEZU Cafe」（テヅカフェ）が4年目に入った。今年は学生23人が、夏休み、日曜日など9月まで営業する。

4月30日のグランドオープンには、太田好紀市長らが出席。豆乳パンケーキと柿ジュレのスイーツワカレー風味のイナリなどの新メニューが披露された。

太田市長は「社会に出たとき、この実践が次のステップにつながります。秋には、やり遂げたという皆さんの成長が楽しみです」と学生を励ました。

## 中高ロボット班のアイデアで 次世代型水道メーター開発へ



締結式に臨む大江君（左から2人目）と河村さん（同3人目）



試作品を説明する大江君（左）

中高理科部ロボット班の大江宏明君（2B）と河村穂さん（3五）がアイデアを出し、奈良市内の水道使用量がデジタル化して検針できる次世代型水道スマートメーターの開発が始まった。中高は4月、事業者の奈良市企業局と水道メーター製造会社と共同開発の覚書を交わし、1年後の実現を目指している。

ロボット班は大江君ら2人を中心に「節水の見える化」を研究。水道の蛇口に取り付けると水量に応じて回転する歯車をセンサーで読み、リアルタイムで水道使用量を表示する装置を3Dプリンターやマイコンのプログラミングで開発した。

今年2月、東京工業大学で開かれた「FLL（ファースト・レゴ・リーグ）全国大会」で発表し入賞。開発に協力してくれた企業局から実用化へのオファーがあった。奈良市内の水道利用者は約10万世帯。2カ月に1回、人による検針が行われている。

企業局は、自動検針によって、人口減の山間部の水道事業のコスト削減や漏水の早期発見、さらに高齢者の見守りなど住民サービスにつながる新メーターの開発を要望。

中高では「社会の課題を解決する学習の機会。役立ちたい」と大江君らが開発に意欲を燃やしている。

## 大学合格状況 国公立209人 私立857人

国公立大学	人数	私立大学	人数
東京大	4	帝塚山大	9
京都大	19	関西学院大	46
大阪大	14	関西大	51
神戸大	15	同志社大	76
北海道大	9	立命館大	86
名古屋大	2	早稲田大	11
九州大	1	慶應義塾大	8
一橋大	3	上智大	2
金沢大	1	東京理科大	3
京都工芸繊維大	6	明治大	3
大阪教育大	5	青山学院大	1
奈良教育大	2	中央大	10
奈良女子大	4	法政大	6
岡山山大	3	近畿大	126
広島大	4	京都女子大	21
徳島大	6	同志社女子大	24
京都市立芸術大	1	神戸女学院大	9
大阪府立大	18	武庫川女子大	18
大阪府立大	21	大阪医科大	8
奈良県立医科大	7	関西医科大	14
その他国公立大	64	兵庫医科大	13
合計	209	京都薬科大	17
		大阪薬科大	18
		神戸薬科大	16
		その他私立大	261
		合計	857

国公立医学部医学科	人数
北海道大	1
弘前大	1
福井大	1
滋賀医科大	3
京都府立医科大	3
奈良県立医科大	4
大阪府立大	1
神戸大	1
鳥取大	1
香川大	1
高知大	2
宮崎大	2
防衛医科大学校	1
合計	22

医歯薬保健獣医系	人数
国公立大医学部医学科	22
国公立大歯学部	8
国公立大薬学部	6
国公立大保健看護学科	13
私立大医学部医学科	63
私立大歯学部	28
私立大薬学部	111
私立大獣医学科	4
私立大保健看護学科	27
合計	282

（5月11日現在）

中高進路指導部は2018年大学入試の合格状況（延べ人数）をまとめた。合格者は国公立大209人、私立857人の計1066人。国公立難関10大学には、東京大4人、京都大19人、大阪大14人、神戸大15人、北海道大9人、一橋大3人、名古屋大2人、九州大1人の計67人が合格。うち40人が現役生だった。

国公立大医学部医学科には22人が合格した。

進路指導部では、「京大ソリューション」「医学部一直線」など高校3年間を通して「進路の動機づけ→実力養成→受験校対策」の流れができてきたことや、担任による早朝の弱点对策テストや自主学習の勧めなど日々の地道な指導が好結果につながったと分析している。

また、特色のあるクラブ活動の実績が評価され、東京大、京都大、大阪大の推薦・AO入試で、それぞれ1人が合格した。

奥本恵・進路指導部長は、「現役合格を推進し、超難関校や国公立大医学科合格はここ4年で倍増した。中間層もレベルアップし、自力で合格しようと目標をもって最後まで頑張る生徒が増えた」と話している。

## RCJ (ロボカップジュニア) 世界大会チャンピオン

中高理科部ロボット班 オープン部門5カ国合同チームで



審査員特別賞を受賞したCIAOチーム



世界6位のBambooチーム (右)

### 審査員特別賞も受賞

カナダで6月17～21日開かれたロボカップジュニア(RCJ)モントリオール世界大会のサッカー競技2部門に中高理科部ロボット班の中高生2チームが日本代表として出場した。オープン部門で、本田瑚梨都(3E)▽藤山優太(2A)▽松岡風我(2C)▽馬淵成美(2G)のチーム「CIAO Tezukayama」は5カ国合同のスーパーチーム競技でワールドチャンピオン(世界一)になった。

オープン部門は1チーム2台の自律型ロボットがカラーボールを追い、得点する競技。CIAOは、個人戦は4勝3敗で27チーム中、11位だったが、2台のロボットが連携してパスとシュートをするテクニカルチャレンジ

### ライトウェイト部門は個人戦で6位

ジを決めるなどロボットの技術力が評価され、審査員特別賞「イノベーション賞」を受賞した。

スーパーチームは6チーム編成され、オープン部門の4倍広いフィールドで参加チームがロボットを出して3回対戦。CIAOは、スロバキア、ロシア、マカオ、オーストラリアとの合同チームで、2勝1分で優勝し、世界チャンピオンになった。

一方、オープン部門より車体が軽く、赤外線の出るボールを追うライトウェイト部門は、九十九亮、西田伊織(以上3B)▽中村航(3一)▽米田圭佑(3二)のチーム「Tzk Bamboo Energy」が個人戦で4勝1分2敗と健闘、27チーム中、6位で入賞した。

### 大会出場メンバーのコメント

松岡風我君「世界大会常連のマカオがリードしてくれ、スーパーチームは優勝できたが、個人戦は各国1位がそろい、次元が違った」

藤山優太君「ロボットは完成度が高かった。もう少し頑張れたかなという気がする。来年は個人戦で世界一を目指したい」

本田瑚梨都さん「まさか世界大会で優勝できるとは思っていなかった。英語でコミュニケーションもでき、自信を持った」

馬淵成美さん「スーパーチームではうまくセンサーが動き、うれしかった」

九十九亮君「京滋奈大会では、バッテリーに制限があり、5位。全国大会はプログラミングが間に合い、2位。世界大会は確実性を上げ、6位になった」

西田伊織君「大きな故障もなく動かせた。世界大会ではコミュニケーション力が大切だと思った」



CIAO(前列)とBamboo(後列)のメンバー

米田圭佑君「上位チームはラインを出さず、ゴールも正確。技術力の違いを目の当たりにした」

中村航君「軽量化の工夫、センサーの使い方など世界大会出場チームのレベルの高さを実感した」



ダンスで盛り上がる会場



ボーカルとバンド演奏



手拍子軽やか



息のあったダンス



熱唱する生徒



UFOキャッチャーロボット

## 盛り上がった中学園祭

中高生の学園祭が4月26、27の両日、開かれた。テーマは「PLAY GAME」。ゲームの世界に飛び込む楽しさと驚きを感じてほしいと実行委員会が企画した。体育館ではバンド演奏とボーカル、ダンスが行われ、大勢の生徒がステージを囲んだ。熱い歌声と演奏に大声援を送り、笑顔が溢れた。

学園講堂では、巨大なカルタ取り大会のほか、ギターマ

ンドリン部の演奏、有志によるフルートとバイオリン、ピアノの合奏や、男子高校生2人がピアノとボーカルで中島みゆきの「糸」を熱唱した。

展示コーナーでは、中高理科部ロボット班がUFOキャッチャーロボットを作り、人気を集めた。1号館横の中庭や食堂に模擬店が並び、生徒と保護者でにぎわった。

## ギタマン部 音楽祭で2年ぶり大賞

中高ギター・マンドリン部は第36回中学校高等学校ギター・マンドリン音楽祭で最優秀の音楽大賞を2年ぶりに受賞した。音楽祭は6月10日、吹田市の千里金蘭大学で開かれ、関西から15校が出場。部員70人がO.カルリーニ作曲の幻想曲「戦場の花」から凱進行進曲など2曲を演奏した。

## 若田さん 卓球全国大会決勝Tに進出

3月に福井市で開かれた第45回全国高等学校選抜卓球大会女子シングルスに高校卓球部の若田果蓮さん（現3F）が出場。予選リーグを1勝1敗で突破し決勝トーナメントで栃木県代表に1-3で敗れた。若田さんは1月の県大会で1位となり、奈良県代表になった＝写真。



## 第2回茜コーラスコンサート



中高の保護者でつくられた女性合唱「茜コーラス」（68人）の第2回コンサートが5月26日、奈良市の秋篠音楽堂で開かれ、合唱組曲「母の手」など15曲を披露した。中高コーラス部も出演し7曲を歌い、最後にアンコールで茜コーラスと中高コーラス部が合同で「瑠璃色の地球」を歌った＝写真。会場は感動に包まれた。

茜コーラスは約10年前、体育文化後援会の文化活動の一つとして発足。音楽科の川口勝利教諭の指導で月2回、練習し、中高のコーラスコンクールへの出演やシンガポールの姉妹校との交流にも参加している。



## 中高入学 654人 学校長「たくましく麗しく成長を」



中高の入学式が4月9日、午前と午後学園講堂で開かれ、中学校には324人＝写真左、高校には330人が入学した。

池辺政人校長は式辞で中学生に「今を大切にする。自分から率先して実行する。努力を積み重ねる」の3つのアドバイスを送り、「これからの3年間で、たくましく麗しく成長してください」と話した。



富岡将人学園長は「夢を持ち、夢を成就していただきたい」と新入生を激励した。

新入生を歓迎するため、2階正門で、吹奏楽部員約20人が午前と午後の2回、数々のマーチを演奏。高らかな演奏で新入生を歓迎した＝写真右。ギターマンドリン部や弦楽部も新入生を演奏で歓迎した。

## 中学校卒業式 312人巣立つ



中学校卒業式が3月19日、学園講堂で行われ、312人が巣立った。池辺政人校長は「前向きに自分の道を切り開いてください」と卒業生を激励した。

卒業生は恩師や保護者に向かって、カンタータ『土の歌』（大木惇夫作詞、佐藤眞作曲）にある「大地讃頌」を大合唱＝写真。"母なる大地を頌えよ、と声高らかに歌い、万雷の拍手を浴びた。

■皆勤賞は次の皆さん（敬称略）

尾角賢人、中畑慶吾、豊田叡聖、上村和輝、桑原伶奈、田中彩絢、福飯佳奈子、北野月菜、齋藤衣代、澤田恵実、畠田彩香、古川明日香、安川真由、山田幸穂、秋岡みずき、上野帆遥、奥田薫、青田水輝、永田美結、房川みのり、藤田息吹、澤田真帆、清家若菜、山野和佳

■前号の高校卒業生の皆勤賞で、坪田安奈さんは、中・高6年間でした。

## 高校コーラスコンクール 最優秀は3年E組



第63回高校コーラスコンクールが6月14日、尼崎市の尼崎アルカイックホールで開かれ、最優秀賞に「白馬の海」を歌った3年E組が輝いた＝写真。3学年計26クラスが出場。3年生は激戦で金、銅賞が各2クラス、2年生は銅賞が2クラスに贈られた。

最優秀賞以外の入賞は次のとおり（敬称略）。

【1年生】金賞＝H組 ▽銀賞＝F組 ▽銅賞＝G組

【2年生】金賞＝F組 ▽銀賞＝A組 ▽銅賞＝H組、I組

【3年生】金賞＝C組、I組 ▽銀賞＝G組 ▽銅賞＝A組、F組

【優秀指揮者賞】小池みのり（1G）今中孝志郎（2A）今井万理佳（3E）

【優秀伴奏者賞】大森立浩（1B）喜多由結（1H）藤田晃人（2A）河合里穂（2I）山田真央（3E）

## シエスタ導入で集中力アップ



小学校は4月から全校で15分間のシエスタ（昼寝タイム）を導入した＝写真。給食後の眠気を取り、頭や体をすっきりさせ、午後からの授業に集中させる。昨年度に試験的に実施したところ、「体調がよくなり、授業や帰宅後の学習に集中できる」などのアンケート結果が多く出た。

一方、机が硬く、枕がほしいという声が寄せられ、老舗寝具メーカー、西川リビングの協力で、机にうつ伏せで仮眠する昼寝専用の枕を開発。児童はネット状の袋にパイプ片を詰め、自分にあった「マイ枕」をつくり、背もたれや座布団としても活用している。

池田節校長は「今の子どもは忙しく、十分な睡眠時間が取れていない。そこで新しく学校として取り組むことにしました」と話した。

## 5年生 田村さんスピーチ全国1位

約500人が応募した全国レベルの「第28回KBSちびっ子イングリッシュコンテスト」で田村玲等さん（5年月組）が、3匹の飼い猫についてのスピーチ「Cats are Great」でグランプリ（全国一）を獲得した＝写真。



新しい仲間が入ると元いた猫がジェラシーをもつ猫の日常を自然な英語で表現。発音、イントネーション、表現力で審査され、田村さんは鏡の前で、ジェスチャーや表情などをチェックして練習した。

田村さんは英語塾に通い、小学3年生で英検2級を取得しており、「まだ上がある。英検准1級を目指したい」と意欲をのぞかせた。

## 3～5年生 国内留学 7カ国講師と英語で学ぶ



英語だけで話す「国内留学」が6月6日～8日、レイクフォレストリゾート（京都府）で開かれた。今年は小学5年生も加わり、3年生～5年生239人が参加。各学年が1日ずつ、外国人講師8人と英語で他教科を学んだ＝写真。

講師は、米国、ロシア、英国、オーストラリア、ブルガリア、ガーナ、ニュージーランドの7カ国の英語教師。1グループ10人前後に分かれ、自己紹介や、講師の国と日本の違いを英語で話す異文化理解、テーマパークを立体的に制作する工作や算数など学年ごとにカリキュラムが生まれ、5年生は講師が店員になり、海外でのショッピングを疑似体験した。

講師と丸テーブルを囲んで話すランチタイムも用意され、児童は「英語で学ぶ1日」に楽しく取り組んだ。

## 1年生 年長児と紙トンボづくりで交流



幼小の交流会が6月4日、小学校で開かれ、小学1年生と年長児が紙トンボづくりをした＝写真。年長児は1年生と相談しながら、ストローと工作用紙を使ったオリジナルの紙トンボをつくり、体育館で飛ばした。

## 台湾教育視察団が授業見学

台湾の校長や指導主事ら37人が4月19日、小学校を視察した。5年月組は音楽でハチャトリアン作曲の「剣の舞」を何度も鑑賞し言葉で表現した。音楽専科の田中葉子教諭は「メロディーを覚え、音楽的要素を学ぶ。今日は13回聴き、歌って再現するようになった」と話した。

## 受け継ぐ帝塚山小学校の伝統

79人が入学「思い出に残る学校生活を」



式のあと拍手で送られる新入生

小学校の入学式が4月10日、体育館で行われた。新入生79人が、6年生に伴われて入場した。

池田節校長は式辞で「きょうから帝塚山小学校の小学生です。明日からはお家の人に連れてもらわなくても自分で登校し、遠くても自分で家まで帰ること。一番大事な勉強です。頑張ってください」と呼びかけた。

新入生は担任から一人一人名前を呼ばれ、壇上に上り、6年生から「おめでとう」と書かれた白色のバラのリボンをつけてもらった。

6年月組の孫潤優さんが「私たちとっしょに思い出に残る小学校生活を送りましょう」と歓迎の言葉を述べた。



送辞を聞く卒業生

### 81人卒業「運動会で心ひとつ」

卒業式が3月10日、体育館で行われ、池田節校長が児童81人に卒業証書を手渡した。池田校長は平昌冬季五輪開会式のドローンによる光のショーを「夜空をキャンバスに蛍のように舞い上がり、鳥や五輪マークになった。皆さんが学んだプログラミングの延長上にある。これから必要なのは、誰もが思いつかないアイデアで人々を感動させ、幸せにすることです」と述べた。卒業生は6年間を振り返り、「中高グラウンドの運動会は応援合戦でひとつにまとまり、心の底から燃え上がった。心をひとつにする帝塚山の伝統、バトンを渡そう」と述べ、在校生は「しっかりと受け継いでいきます」と応えた。



### 1年生歓迎遠足 二月堂へ

1年生歓迎遠足が4月27日、近鉄奈良駅前から南大門、大仏殿、二月堂、春日野園地をめぐる新緑のコースで行われた＝写真。

6年生が1年生をペアで世話する帝塚山小学校の伝統行事。シカが近づき、こわがる1年生もいたが、6年生がうまく誘導。二月堂の階段も「がんばって」と励まされながら上った。春日野園地では、変装した5人の先生をあてるクイズを楽しんだ後、みんなで弁当を広げた。

## 幼小大が教育連携 学生栽培の新じゃがが収穫



年中児と小学5年生が6月1日、学園農園でじゃがいもと玉ねぎを収穫した=写真左。大学現代生活学部食物栄養学科の学生サークル「てづかファーム」（藤本香穂部長ら50人）が昨年11月に玉ねぎ、今年2月にじゃがいもの苗を植え、水やりなどして有機栽培した。

5年生84人と年中児48人が約20人の学生に見守られな



園児と交流する学生たち

がら、コンテナ4杯の新じゃがと新玉ねぎを収穫した。大学食堂の協力で幼小の給食にカレーやシチューに調理され、「とてもおいしい」と好評だった。収穫祭は幼、小、大の連携事業で今年3年目。同科3年生の藤本部長は「子どもが喜んでくれて嬉しい。1年間栽培してきた甲斐がありました」と笑顔で話した。

### 幼小合同 音楽鑑賞 仏合唱団が公演



「ムジークフェストなら」に出演したフランスの混声合唱団「マイクロコスモス」が5月11日、小学校体育館で、全児童と全園児を囲み、北欧の合唱曲など10曲を歌った=写真。幼、小合同の鑑賞は初めて。小学校音楽専科の田中葉子教諭は「出会ったことのない世界の音楽を楽しんでください」と呼びかけた。

合唱団は総勢約40人。ロイック・ピエールさんの指揮でノルウェーやリトアニアなどの音楽のほか、「帝塚山学園の歌」なども合唱。会場全体が声で響き合い大合唱の世界を作り出した。

最後に小学生代表が「素晴らしい音楽、ありがとう」「パワフルな音楽が聴けてハッピーだった」などとあいさつした。ピエールさんは「子どもの顔に傑作を見たときの喜びが出ていた。音楽の喜びを共有でき、やっけて心地よかった」と話していた。

### 園児 イチゴ狩り楽しむ



年長児は4月23日、奈良市内の農園で「紅ほっぺ」など3種類のイチゴ狩りを楽しんだ。採りたては甘い香りで、園児は「イチゴ、おいしい」とほお張った=写真。

### 実体験で交通ルール学ぶ



奈良西警察署員らによる交通安全教室が5月10日、リズム室で開かれ、全園児が事故に遭わないよう交通ルールの大切さを学んだ。ミニパトカーも見学した=写真。

## 学園教育は2歳児教育・幼稚園から



入園式でチューリップを贈られ喜ぶ園児たち

### 43人迎え入園式

4月12日、入園式がリズム室で行われた。年中のれんげ組、すみれ組各2人、年少のばら組20人、もも組19人の計43人が入園。塚本真紀園長は「毎日、必ず『おはようございます』といい声であいさつができるよう約束してください」と話した。

### 2歳児30人が入会

2歳児教育の入会式が5月12日、リズム室で行われた。りす組、うさぎ組各15人が拍手で迎えられた。

塚本園長は「『おはようございます』と言える子になりましょう。あいさつができると、ご飯がいっぱい食べられ、よく遊べる子になります」と語りかけた。



### 43人が卒園式

卒園式は3月15日、リズム室で行われ、塚本園長がたんぼ組21人、こすもす組22人の計43人に「おめでとうございます」と真っ赤な表紙の卒園証書を手渡した＝写真。園長は「しっかりあいさつする。人の話をしっかり聞く。たくさんの本を読む。この3つを忘れないで、すてきな小学生になってください」とあいさつした。



### 2歳児31人が修了式

2歳児教育の修了式が卒園式よりも1週間早い3月8日、リズム室で行われ、塚本園長は31人に修了証書を手渡した＝写真。

園長は「朝のごあいさつも上手にできるようになりました。並んで歩くのは自立への第一歩です。もっともっと大きくなってください」と話した。

「T-time」は、在校生、保護者、卒業生、教職員、学園関係者の方々に学園の現状をお伝えし、学園をPRするため、年3回(3月・7月・12月)発行しています。



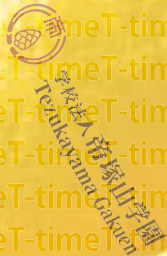
# Tezukayama Gakuen

2018/Jul.

第 3 号

2018年7月12日発行

帝塚山大学・帝塚山高等学校・帝塚山中学校・帝塚山小学校・帝塚山幼稚園



学校法人 帝塚山学園  
Tezukayama Gakuen

【編集・発行】帝塚山学園 教育連携室  
〒631-0034 奈良市学園南3丁目1番3号  
Tel:0742-41-4750 / Fax:0742-41-4662